

※三田オープンカレッジは土曜日4回で本格的な学術に触れる新しい学びの場です

ニュースの見方、考え方（その2）＝激変するメディア環境における ニュースのあり方・受け止め方を考える



2021年06月19日(土)
3限 (13:00~14:30)

開催回：4回

受講料：15,000円（税込）

学 期	春学期後半	講座番号	21110
教 室	オンライン講座	形 式	レクチャー形式
備 考	・1回(90分)、全4回の講座です。・掲載内容は2021年4月1日時点の情報です。		

講座概要

インターネットやSNSで情報が瞬時に伝わる時代。通信技術の発達で情報量は加速度的に増え、その到達範囲も際限なく広がっていきます。報道の世界では隠された事実を明るみに出す努力を続ける一方で、誤報やフェイクニュースも後を絶ちません。玉石混交の情報があふれる中で、歴史の1ページとして刻まれる正確なニュースをどうやって見分ければよいのでしょうか。本講座では、通信社記者としてニュースの発掘・発信現場に長く携わった経験を基に、新聞・放送・ネットの各メディアの特性とニュースの流れ、メディアを取り巻く環境変化を実態に即して紹介し、報道のあり方と受け止め方を考えます。実際のニュース原稿を使って、記事の正確性、分かりやすさ、内容の深さを検証し、ニュースの意味や発信者側の意図を解き明かす実践講座です。

修了条件

全講座回数の4分の3以上の出席および担当教員による判定

講師紹介

牧野 和宏 一般社団法人共同通信社 前常務理事

1956年3月生まれ、慶應義塾大学法学部政治学科卒業、新聞研究所修了。80年、社団法人共同通信社入社。社会部記者・デスクとして、薬害エイズ、オウム真理教、神戸の連続児童殺傷、和歌山の毒物カレーなどの事件のほか、個人情報とプライバシー保護、少年犯罪と報道、裁判員制度導入に伴う犯罪報道の見直しなどに取り組む。2006年、社会部長。その後、デジタル担当などを経て2015年、常務理事就任。業務、放送報道、経営企画を担当し19年6月退任。

スケジュール

日時	内容
2021年06月19日(土) 3限 (13:00~14:30)	主題：ニュースはどのように伝わるのか 説明：新聞、放送、ネット各媒体の特性変化と環境変化の中で、ニュースの流れと質がどう変化しているかを検証します
2021年06月26日(土) 3限 (13:00~14:30)	主題：ニュースはどのようにして生まれるのか 説明：取材現場・編集現場の実態と変容を解説します。特ダネはどのようにして生まれるのか。記者クラブの是非なども検討します
2021年07月03日(土) 3限 (13:00~14:30)	主題：ニュースと人権・プライバシー 説明：ニュースは人権を侵害するのか。個人情報やプライバシー保護と公益性のバランスを実名・匿名報道のあり方を通して考えます
2021年07月10日(土) 3限 (13:00~14:30)	主題：ニュースと世論 説明：世論はどのように形成されるのか。世論操作やフェイクニュースの実態、客観報道について検証し、ニュース報道の役割を考えます

受講のお申込み

開催回：4回	受講料：15,000円（税込）
--------	-----------------

講座概要

【実施日程】

春学期前半：5月15日、22日、29日、6月5日
春学期後半：6月19日、26日、7月3日、10日
春学期補講：6月12日、7月17日
秋学期前半：9月25日、10月2日、9日、16日
秋学期後半：10月30日、11月6日、13日、27日
秋学期補講：10月23日、12月4日



【募集形式別受講料・募集人数】

講座I（レクチャー形式、全4回）：1.5万円、70名
講座II（ゼミ形式、全8回）：10万円、20名

三田オープンカレッジ公式ページ <https://www.moc.keio.ac.jp/>

三田オープンカレッジ事務局連絡先 keio-moc@withus-inc.co.jp

